

～子ども・子育てつなぐプロジェクト～

平成30年度
第2号

つなプロしんぶん



H31.1.17

子育てメッセアンケート結果分析報告会、開催！



(提案資料は「すごい力作」と好評)

学生さんの発表を聞いた団体の皆さんからは、「しっかりアンケートを分析していて、説得力があった」「もっといろんな人に聞いてほしい!」と、学生さんを褒め称える言葉が次々にあふれました。

後半の意見交換タイムでは、提案内容をもとに、今後のメッセをどうやってもっと盛り上げていこうかを話し合い、「(展示ではなく)交流」「パパ向け」「H P・SNS」といったキーワードがあがりました。

「学生さんだけで、ここまでのクオリティになるのは素晴らしい!」

12月13日(木)「第6回つなプロ交流会」にて、子育てメッセのアンケート結果分析報告会を実施しました。「世田谷区の子育て施策について」「今後の子育てメッセについて」提案をいただきました。



(団体の皆さんも真剣に耳を傾けます)

今回行ったアンケート調査は、「ママ・パパの子育てにおけるニーズが知りたい...」という思いでスタートしました。今回は、東京都市大学都市生活学部北見ゼミの3年生(12名)にご協力いただき、メッセ初・学生さんによるアンケート調査となりました。

アンケート用紙の作成から、実施だけでなく、集計・結果分析・発表まで、全て学生さんに行っていました。メッセ当日には、ママ・パパへのインタビューも行い、直接ママ・パパの子育ての様子や困り事などを聞くことができ、学生さんたちにとっても貴重な経験となったようです。



(アンケート用紙は、団体の皆さんにも意見をいただきながら、学生さんに作成してもらいました)

東京都市大学 生活学部 北見ゼミ [検索](#)

<http://kitamilab.tokyo/201812setagaya/>

学生さんの提案「分析はプロ並みで、素晴らしい！」

団体の皆さんから大好評だった学生さんの提案内容について、概要を報告します。

提案 「世田谷区の子育て施策について」

「支援の必要のないコミュニティの構築を」

A班は、アンケート結果から、親自身・子ども自身・親子の関係に不安を感じており、自ら解決できない課題が発生していると分析。現状の支援だけではなく、「支援の前段階にアプローチし、支援の必要のないコミュニティを構築する」ことが重要という視点で提案しました。

提案③
各子育て親の“生活圏”における
包括的コミュニティの構築

「ソダテバ ステーション」

- ・官民学による共同運営
 - ・子育てに関する全ての人が協同で子どもを育てる
- コミュニケーションとコミュニティを
充実させる

必要なことは、

コミュニケーション
と
コミュニティ

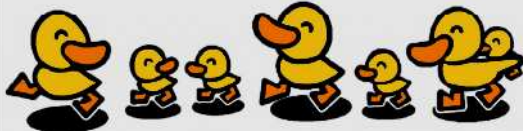
を充実させること。

団体の皆さんからは、「分析はプロ並みで、素晴らしい！」「深く調べていて感心した」といった感想がありました。

提案 「今後の子育てメッセについて」

メッセについての提案

B班



“情報収集のためだけでなく、
活発に交流が生まれるメッセ”

「活発に交流が生まれるメッセに」

B班は、アンケートの結果から、子育てメッセを交流空間と捉えている方が少ないのではないかと分析。子育てメッセをより活発な交流空間にしてはどうかということで、4つの解決策を提案しました。

メッセは年2回、ローテーション開催
衣料品交換会で子育て団体券を

HPの強化

展示ブースの見直し

この4つの解決策で「満足」「どちらともいえない」と回答した方を、「とても満足」に！

「交流」をキーワードとした子育てメッセの提案に、「提案を取り入れたい」という声があがりました。